

協会けんぽ宮崎支部 ジェネリック医薬品使用状況

《直近の宮崎支部におけるジェネリック医薬品の使用状況》

[新指標によるジェネリック医薬品割合(数量ベース)]

令和7年11月診療分

支部	総合	医科入院	医科入院外	歯科	調剤
宮崎	91.9% (7位)	83.6% (47位)	78.9% (30位)	75% (13位)	93.9% (4位)
全国計	90.4%	87.1%	79.1%	70.6%	92.4%

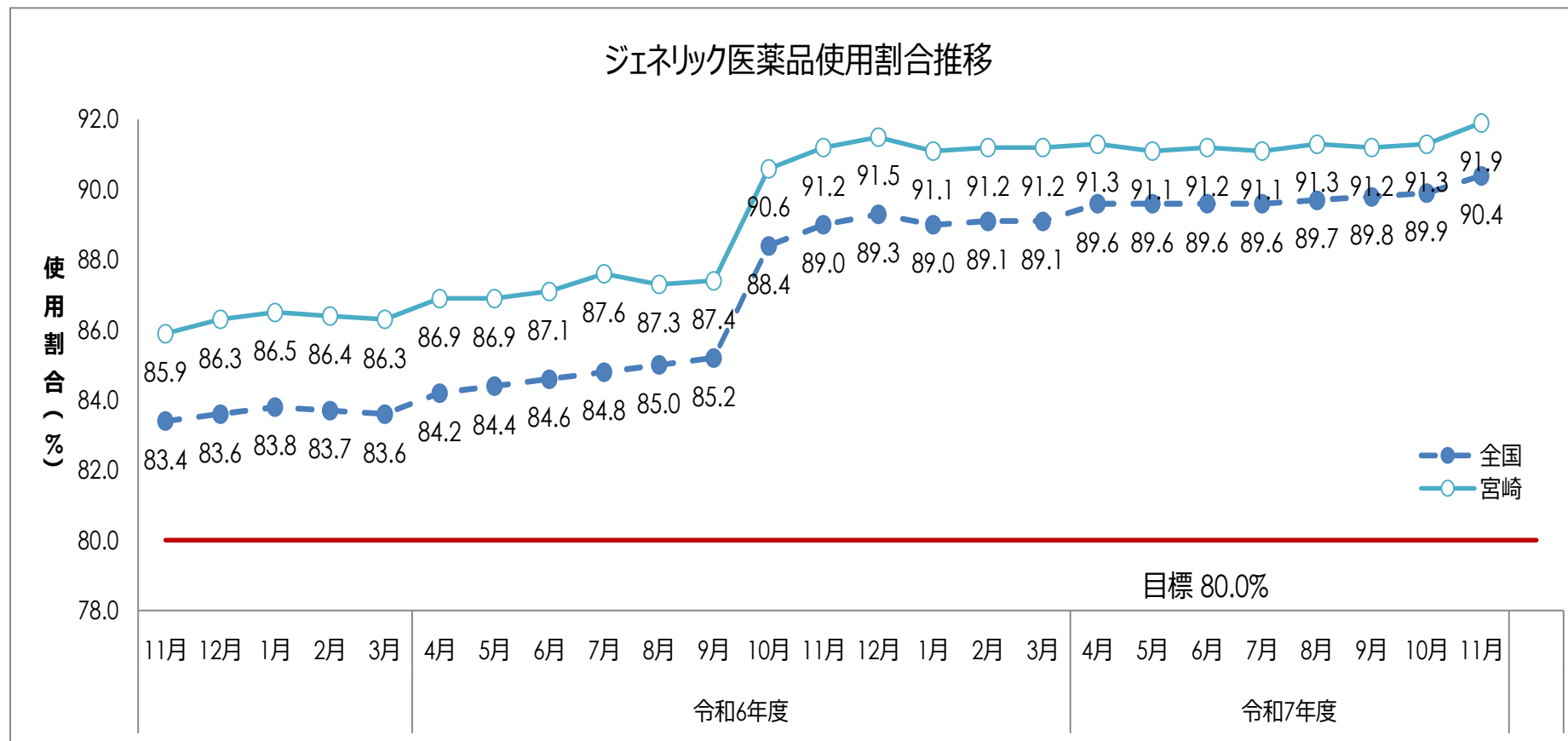
※括弧内は宮崎支部の順位

<(参考)[後発医薬品のある先発医薬品の数量]+[後発医薬品の数量]の診療種別の構成割合(数量ベース)>

支部	総合	医科入院	医科入院外	歯科	調剤
宮崎	100%	1.2%	12.2%	0.3%	86.3%
全国計	100%	1.0%	13.5%	0.3%	85.2%

レポートの使用割合(新指標によるジェネリック医薬品割合)は、「ジェネリック医薬品の数量」を「ジェネリック医薬品のある先発医薬品の数量」と「ジェネリック医薬品の数量」を合計した数量で除して算出しています。そのため、「ジェネリック医薬品がない先発医薬品」の数量は除いています。

協会けんぽ宮崎支部と全国のジェネリック医薬品使用状況(医科・DPC・歯科・調剤)の推移



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)

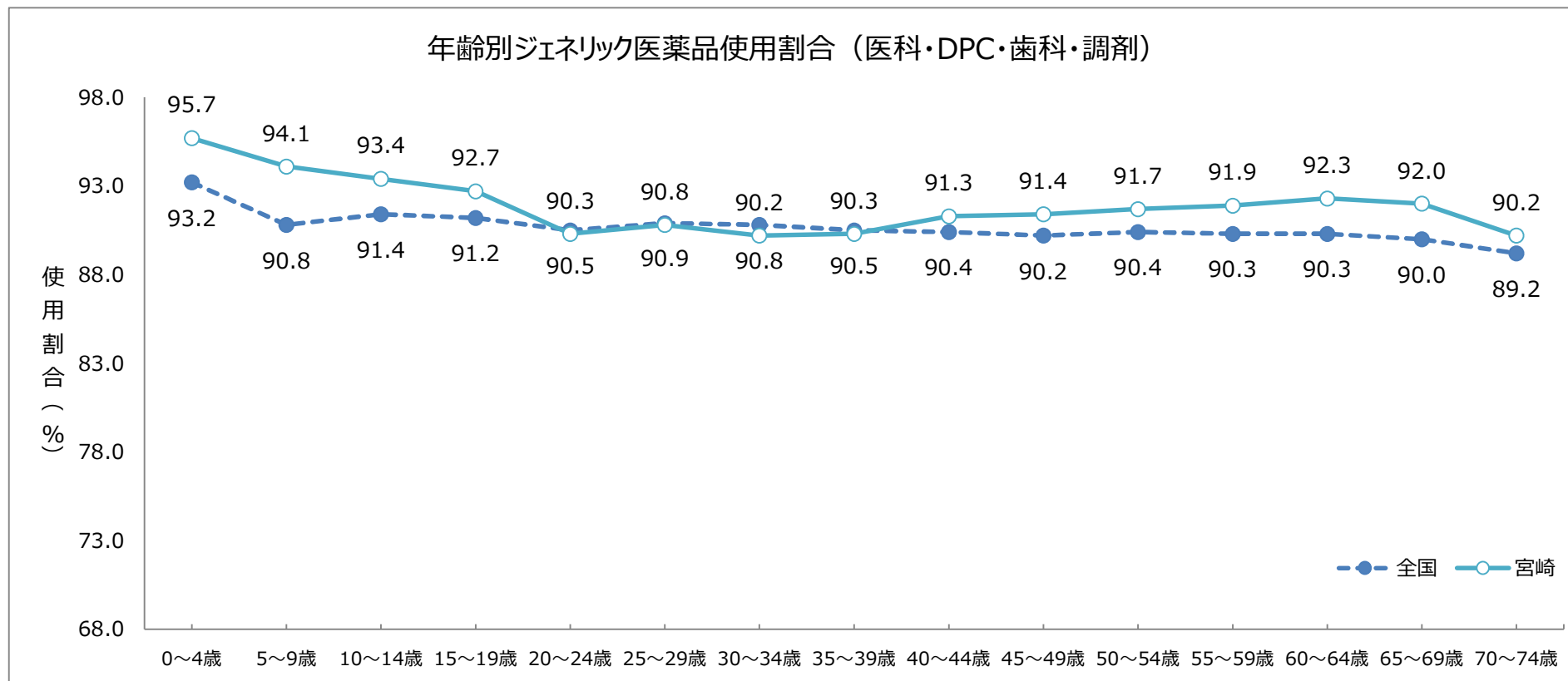
なお、DPCレセプトについては、直接の診療報酬請求の対象としていないコーディングデータを集計対象としている。

注2. 「新指標による後発医薬品使用割合(数量ベース)」は、 $\frac{\text{[後発医薬品の数量]}}{\text{[後発医薬品のある先発医薬品の数量] + \text{[後発医薬品の数量]}}$ で算出している。

医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」に基づいて設定している。

協会けんぽ宮崎支部と全国の年齢別ジェネリック医薬品使用状況(医科・DPC・歯科・調剤)

(令和7年11月診療分)



注1. 協会けんぽ(一般分)の医科、DPC、歯科、調剤レセプトについて集計したものである。(ただし、電子レセプトに限る。)

注2. 加入者の適用されている事業所所在地の都道府県毎に集計したものである。

注3. 「数量」とは、薬価基準告示上の規格単位ごとに数えた数量をいう。

注4. 「新指標」は、 $\frac{[\text{後発医薬品の数量}]}{([\text{後発医薬品のある先発医薬品の数量}] + [\text{後発医薬品の数量}]}$ で算出している。医薬品の区分は、厚生労働省「各先発医薬品の後発医薬品の有無に関する情報」による。